

<報道発表資料>

一般財団法人沖縄美ら島財団
沖縄セルラー電話株式会社

首里城公園にスマートゴミ箱を導入

ごみの蓄積状況を可視化し、回収業務の効率化と快適な園内環境づくりを推進

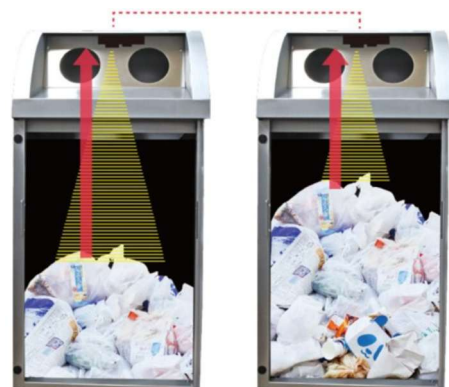
首里城公園を管理・運営する一般財団法人沖縄美ら島財団（以下、沖縄美ら島財団）と沖縄セルラー電話株式会社（以下、沖縄セルラー）は、首里城公園において、ゴミ箱内のごみの蓄積状況をセンサーで検知し、遠隔から確認できるスマートゴミ箱の運用を開始します。本取り組みを通じて、利用状況に応じた回収タイミングの最適化を図り、施設管理業務の効率化と、来園者が快適に過ごせる園内環境づくりを目指します。

1. 背景

首里城公園では、園内のゴミ箱を定期的な収集スケジュールに基づいて管理しています。一方、首里杜館内のカフェ・レストラブースや総合案内所などでは、来園者の利用が集中する時間帯があり、短時間でごみの量が増加する傾向があります。従来の一定間隔での巡回では、ゴミ箱の状況と回収のタイミングが合わないことや、確認のための巡回が必要になることが課題でした。

両者は、ゴミ箱の状況をデータで把握することで、必要な場所を必要なタイミングで確認・回収できる運用を目指し、IoTセンサーを活用した仕組みを導入します。

■ 設置の様子



2. 取り組みの概要

ゴミ箱の上部に設置した距離センサーでゴミまでの距離を測定し、蓄積状況を把握します。取得したデータは通信回線を通じて管理画面に反映され、管理担当者はパソコンなどから各ゴミ箱の状況を確認できます。また、あらかじめ設定した基準を超えた場合には通知を受け取る運用を想定しています。

【概要図】



運用開始日 : 2026 年 6 月

設置台数・場所: カフェ龍樋内のゴミ箱 3 台

3. 導入後の結果

- ・回収が必要なゴミ箱を可視化し、巡回・確認業務を効率化
- ・利用状況に応じて回収の優先順位を判断し、効率的な人員配置を支援
- ・満杯になる前の回収を促し、園内の清潔で快適な環境維持に貢献
- ・蓄積データを活用し、回収計画・運用の継続的な改善を実施

4. 今後

沖縄美ら島財団と沖縄セルラーは、運用を通じて蓄積状況や回収対応のデータを確認し、施設管理業務への効果を検証します。その結果を踏まえ、対象場所や運用方法の見直しなど、より効率的な公園管理に向けた ICT 活用を検討していきます。

【報道機関からのお問い合わせ先】

沖縄セルラー 広報担当 auo-kouhou@au-mobile.com / (098) 860-3608

【一般財団法人沖縄美ら島財団】

「美らなる島の輝きを御万人（うまんちゅ）へ」という経営理念のもと、沖縄美ら海水族館をはじめ、海洋博公園や首里城公園など沖縄の豊かな自然や文化資源を活かした公園施設の管理運営を担う法人です。

財団内に設置された総合研究所を中心に、亜熱帯性動植物や海洋生物に関する専門的な調査研究、技術開発、教育普及活動を推進している組織です。

※「御万人（うまんちゅ）」とは、沖縄の方言で「万人、みんな」という意味です。

【沖縄セルラー電話株式会社】

沖縄県を事業基盤とする総合通信事業者です。県民の暮らしと地域社会を支えるインフラを提供しています。通信事業に加え、ヘルスケア・教育・観光など新たな事業への参画を通じて、沖縄ならではの価値創出と地域活性化に積極的に取り組んでいます。

「地元に全力！」という想いのもと、これからも沖縄に根ざし、信頼され続ける企業を目指してまいります。

【報道機関からのお問い合わせ先】

沖縄セルラー 広報担当 auo-kouhou@au-mobile.com / (098) 860-3608